



佐藤 倫子さん

とても居心地がいいまち。それは素晴らしい人・地域・自然があるからなんです。

市長 みなさんに知っておいてほしいのは、美しい海・山・田畑を作りだし、守っているのは誰かというところ。元気な農家や漁師のみなさんがおられるおかげで立派な自然が保たれているのです。そして「人」の魅力も挙げられました。先日発行された『香港ウォーカー』という雑誌に糸島が掲載され、そこでは「地霊人傑」という言葉で糸島が紹介されています。つまり、先人の素晴らしい霊魂がこの地に宿り、素晴らしい「土地柄」がまた素晴らしい「人」を生んでいる、という意味だそうですね。



課題は働く場の確保と交通アクセスの改善。

佐藤 糸島は、このように恵まれた素晴らしい地域なのですが、一方で若者が減っているのはなぜなのでしょう。改善すべき点はどんなところでしょうか。

泊 とにかく働く場所が少ないと思います。糸島生（糸島農業高校の生徒）の多くが就職希望ですが、糸島市内の企業からの求人ほとんどありません。若者にとっては、大企業のようにたくさんの方が集まる所はひとつの憧れ。糸島市内にはそうした企業が少なくてすからね。

西崎 私も友人たちも、糸島市内の企業からの求人を毎日探していましたが、ありませんでした。結果的に市外で就職することになりました。

中村 働き口が少ないことに加え、進学先も、自宅から通えるのは学力が高い九州大学だけ。それ以外の学校へ通うとなると、一人暮らしを選択する場合も多いようなので、進学を機に市外へ出てし

して注目できるのではないのでしょうか。



若者が求める場所。それは遊び・集い・学べる場。

佐藤 就職先が少ないこと、交通アクセスが良くないことが課題として挙げられました。ところで、みなさんはどんな所でデートしたり遊んだりしているんですか。

神代 僕たち世代がデートしたり遊ぶ所はないですね。休日どこかに出かける場合、たいてい天神や博多もしくはマリノアシティ福岡など姪浜より

若い世代が遊ぶ場・集える場は必要だと思います。



西崎 加奈恵さん

まうのはやむを得ないと思います。

市長 働き口が少ないのはよく認識しています。市では、小規模でもいいので雇用が生まれる場として、工場や研究所などの誘致を積極的に進めています。近い将来、就職先が「よりどりみどり」となるように、今後も頑張っていく予定です。

神代 志摩のように駅から遠いところに住んでいる人にとっては、交通アクセスがとても不便であることも挙げられるのではないのでしょうか。それに一人暮らしをするにも環境が整っていないように感じます。

東になってしまいます。話をすることを目的に集まる場もないような気がします。

西崎 集まって話すとしたら、友達の家くらい。糸島には若者が集う場がないと感じます。

波多江 そうですね。自転車で行ける範囲をグルグル回ったり、サンリブの前のムツゴロウ焼きをみんなで食べたりはしていましたが（笑）。

市長 若者にとっては、自然に親しむというより、人が集まったり都会的でモノがある雰囲気がある方が集まりやすいですね。例えば近くにどんなお店があったらいいと思いますか

福地 学生は、居酒屋街があれば喜ぶますね（笑）。糸島ならではのうまいものを出してくれる店とか。

波多江 映画館もあったらいいですね。毎回電車に乗ってキャナルシティ博多やホークスタウンへ出かけますが、映画館に行くまでの交通費が余計にかかるので。

市長 みなさんが生まれる前は、糸島の国道沿いに映画館が3館あったんですよ。多分知らないと思いますが。

波多江 受験生なのですが、いつもどこで勉強しようか悩んでいます。学校は慣れた場所なので緊張感が持てず、自宅はいろいろな誘惑がある。高校生の多くは集中して勉強できる学習室を望んでいます。

福地 大学生も利用したいと思いますよ。それから、大学生が高校生に勉強を教える機会をつくってもいいのではないのでしょうか。

市長 学習室は糸島市図書館二丈館にはある程度確保していますが、そうした環境が大事なのですね。ちょっと考えてみないといけませんね。

中村 交通の便が悪いので、車がないお年寄りは買い物に行けず困っています。移動式のスーパーのようなものがあつたら助かるのですが。

市長 有料道路やJR筑肥線が走っているのですが、東西の交通は整っている。しかし、南北の交通が弱い。バスを走らせるにしても赤字になるのは現実なので、ここをどうやって解決していくのか、非常に重要な課題です。

福地 魅力的な観光スポットがいろいろ点在しているのに、移動手段がないのが弱みです。9月に私たちiTOPが開催した「糸島地域活性化プランコンテスト」では、トウクトウク（東南アジアで普及している三輪タクシー）を糸島でも導入し、観光スポットを線で結ぼう、という案が出ました。現在、実行に向けて策を練っているところです。

佐藤 住まいに関しては、九州大学の建築学科の学生が中心となって「糸島空き屋プロジェクト」を進めていますよね。

福地 はい。空いている民家を活用するもので、改築して学生たちがルームシェアするそうです。第1弾では入居希望者が殺到したと聞いています。九大が研都市のようなマンションと競争するのはなく、糸島らしさを生かした手法と



福地 それから、ネット環境が整ったところには学生や外国人がたくさん集まります。無線LANの整備が進めば、各自パソコンなどの端末を持ってきて調べ物をしたりしますよ。



人・自然。守るべきたいせつなものがある。

佐藤 では、10年後も変わってほしくない、これだけは残したいな、と思うものを挙げてください。

泊 ずばり自然を残したいですね。今も豊かな自然が広がっていますが、実は高齢化により農業をやめ

耕作放棄地を整備し、貸し農園として開放することで、今よりもっと緑豊かにしたいですね。

泊 竜樹さん

